

第108回常設審議委員会

農業会議は3月21日、第108回常設審議委員会を大阪市内・シテイプラザ大阪で開いた。第1号議案の農地法第4条及び第5条の規定に基づく意見聴取に回答する件（茨木市、能勢町、岸和田市、泉佐野市、阪南市、堺市、河南町、松原市、羽曳野市、大阪狭山市、八尾市、寝屋川市、四條畷市農業委員会会長）21件（2万9696平方メートル）を許可やむを得ないと認め、回答することを議決した。

農地を活かし、持続可能な

大阪農業を創る運動（概要）

3月21日開催の農委会長・農業会議会員等合同会議で承認された「農地を活かし、持続可能な大阪農業を創る運動」推進計

【第1号議案】

件数	面積（平方メートル）
第4条	4
第5条	17
合計	21
（農地区分別件数は、3種農地11件、2種農地8件、農用地区域内農地2件）	

画の項目は次のとおり。期間は令和7～9年度。農委・農業会議が一体で関係機関・団体との連携に努めて実施する。

- 市町村農委の取り組み
- 1) 人と農地の現状把握
 - ① 地域の農地利用状況、農地利用意向の把握と共有
 - ② 地域内外の担い手の情報把握、農地情報の発信
 - (2) 地域農業の将来像を見据えた活動
 - ① 将来像の具体化

- ② 都市農地の保全と利用促進
- (3) 関係機関・団体と連携した農地利用最適化促進
- ① 地域農業の課題・情報の共有
- ② 農地利用最適化に向けた事業導入等
- (4) 農地法の適正執行及び啓発活動
- ① 農地法の適正執行
- ② 農地転用許可制度等の啓発
- (5) 女性農業委員の登用促進
- (6) 地域住民の農業理解促進
- ① 都市農業・農地が発揮する多様な機能についての理解促進
- ② 食農教育の推進
- (7) 市町村長への意見書の提出

- (8) 情報提供活動の強化
- 農業会議の取り組み
- (1) 推進体制の確立
- (2) 運動推進の申し合わせ決議運動の目標達成に向けた農業委員会への支援・協力・助言
- ① 地域の話し合い活動実現支援
- ② 農地法の適正執行に向けた支援
- ③ 農業者・地域の声を汲み上げた政策提案の実施
- ④ 女性農業委員の登用促進に向けた情報提供及び研修の実施
- ⑤ 農業委員会組織と関係機関・団体との連携強化
- (4) 情報提供

天気のおっちゃんのコラム

気象予報士、元普及指導員

森田 彰朗

第十三回

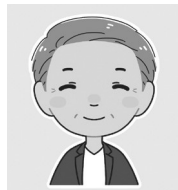
「大阪の一番暑い日」

大阪の最高気温の記録

前回、府内のアメダスポイントをご紹介しましたが、今回からはアメダスデータから読み取れる、これまでの大阪での記録的な気象現象を解説します。今

回は、夏の高温についてです。周辺アメダスでも高温

大阪市のアメダスポイントでの過去最高気温は一九九四年八月八日の39・1℃です。実はこの日には、大阪府の最高気温である39・9℃（豊中）のほか、枚方や堺でも39℃を超える歴代2位の記録が出ています。周辺府県でも、京都、奈良、神戸で



過去最高または最高タイの気温をこの日に観測しています。

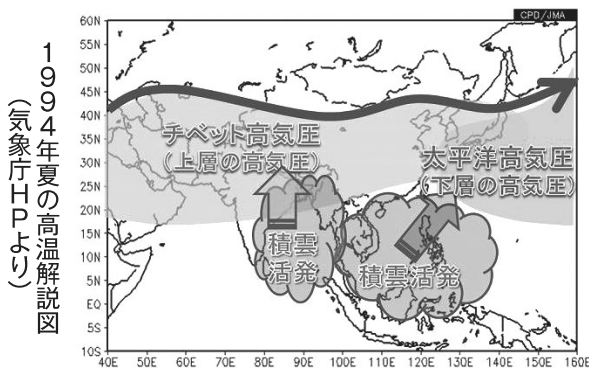
温暖化が叫ばれる21世紀の最高気温を抑えて、30年前のこの記録が今でもトップにあるのはどうしてでしょうか。

二つの高気圧が上空で重なる

解説図をご覧ください。この年は毎年夏の暑さをもたらす中層（上空6キロ）の太平洋高気圧に加え、その上（上空10キロ）にチベット高気圧が二重に張り出

していました。高温や日射の元となる高気圧が、東西から二重に張り出すという、いわば「掛け布団二枚重ね」状態で、強い日射で暑い日が続きました。しかも、大阪での風の観測値を見ると、この日は午前中が無風で、午後には海からの風が吹き、ヒートアイランドの大阪の熱い空気が、周辺の枚方や豊中へも吹き付けたと考えられます。ちなみに前年の夏は、「平成の米騒動」の大冷害を引き起こす低温の年でした。その反動が起こったのかもしれない。

ワンポイント農業気象（4月）



温帯低気圧による突風
放射冷却による低温、晩霜

1994年夏の高温解説図
（気象庁HPより）